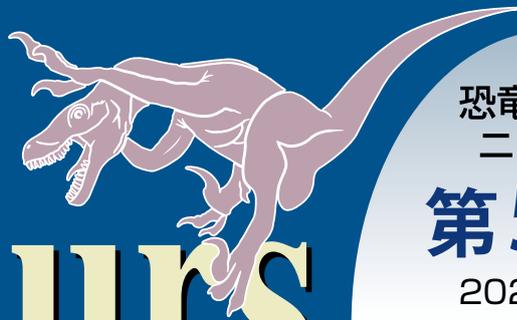


恐竜 Dinosaurs



恐竜博物館
ニュース

第59号

2020.3.26

福井県立恐竜博物館

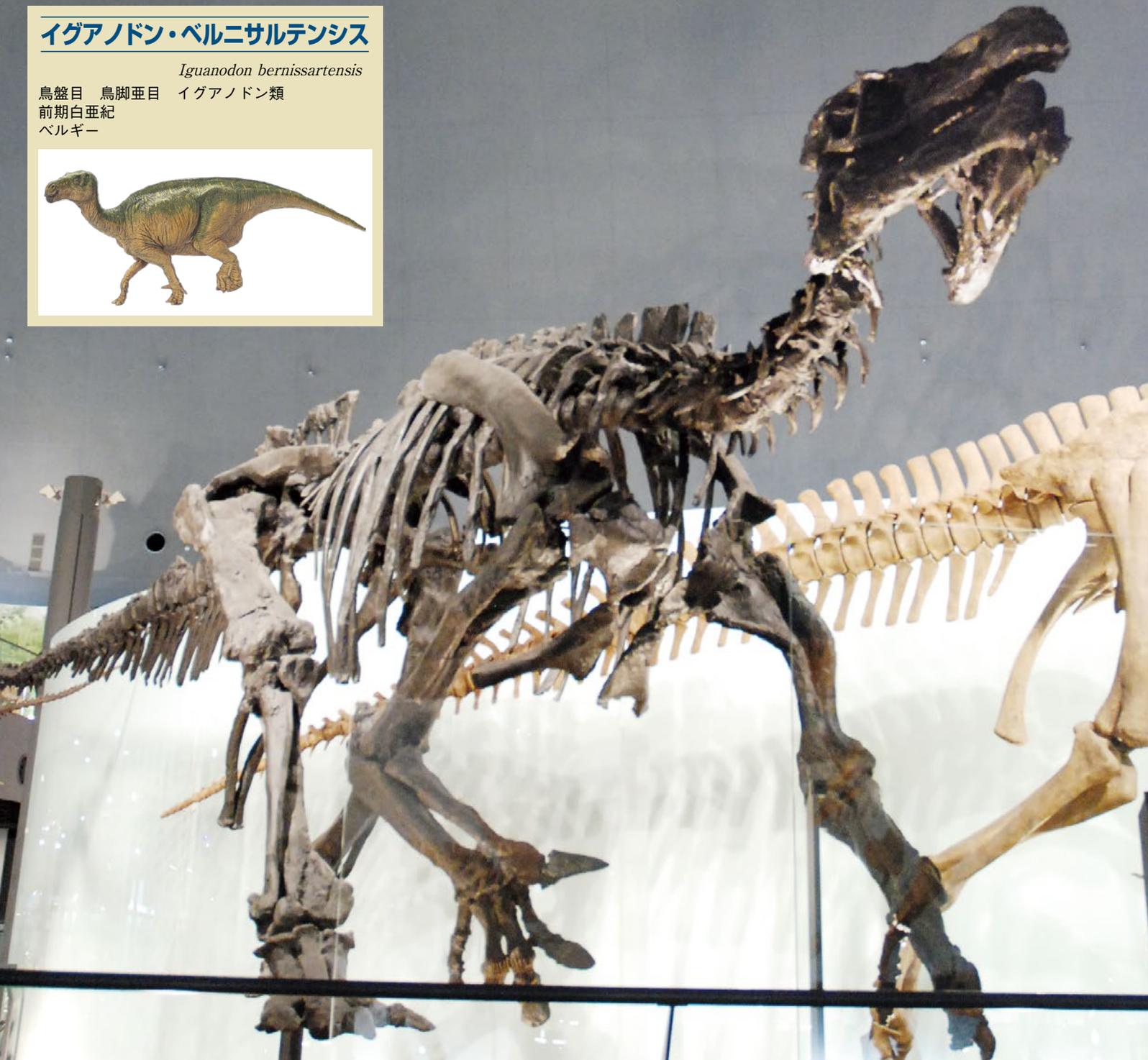
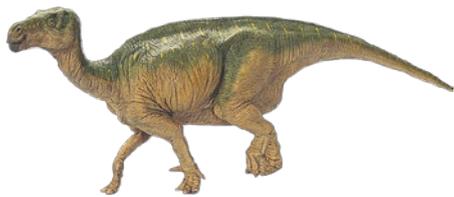
タイで新種発見！ 肉食恐竜シャムラプトル

- 目次 ▼タイで新種発見！ 肉食恐竜シャムラプトル … 2～3
▼博物館トピックス「恐竜博物館この一年のあゆみ～2019年度恐竜博物館の動き～」… 4～6
▼2020年度特別展「恐竜新時代～世界に広がる恐竜王国の覇者たち～」(仮称) 紹介 … 7
▼2020年4月～7月催し物案内 … 8

イグアノドン・ベルニサルテンシス

Iguanodon bernissartensis

鳥盤目 鳥脚亜目 イグアノドン類
前期白亜紀
ベルギー



タイ下新種発見!

経緯

福井県立恐竜博物館は、ナコーン・ラチャシーマ・ラジャバット大学附属珪化木鉱物資源東北調査研究所（通称：コラート化石博物館）と共に、2007年からタイ王国における共同発掘調査を行ってきました（図1）。その成果として、2011年には新種のイグアノドン類ラチャシマサウルス・スラナリア工 (*Ratchasimasaurus suranareae*)、2015年には同じく新種のイグアノドン類シリントーナ・コラーテンス (*Sirindhorna khoratensis*) をそれぞれ報告してきました。

こうした共同発掘調査で発見された化石は、両館でクリーニング作業が進められてきましたが、その中にはこれらの2種とは全く異なる、大型の獣脚

類の部分的な頭骨、脊椎、四肢骨などが含まれていました（図2）。その一部は、正体不明の獣脚類化石としてコラート化石博物館で展示されていましたが、両館と福井県立大学恐竜学研究所による共同研究の結果、これが新属新種のカルカロドントサウルス類のものであることが判明しました。その成果を報告した論文が、2019年10月9日に国際学術雑誌に掲載されました。

学術的な意義

カルカロドントサウルス類は、後期ジュラ紀～白亜紀（約1億6400万年前～約6600万年前）に汎世界的に分布した大型の肉食恐竜のグループで、北米のアクロカントサウルスやアフリカのカルカロドントサウルス、そして勝

山市の恐竜化石発掘現場で見つかったフクイラプトルなどがこのグループに含まれます（図3）。

今回報告した化石は、骨格がバラバラの状態ではあるものの、それぞれの保存状態は良く、分類に重要な特徴が確認できるパーツが多くそろっていたため、詳しい研究が進められました。

一連の化石の形態を他の獣脚類と比較したところ、アロサウルス上科に共通する特徴が数多く認められました。

中でも、頸椎の椎体に2つの含気孔が発達する点や、脛骨における距骨との関節面の上縁がやや不明瞭である点などは、同上科の中でもカルカロドントサウルス類に特有のものです。さらに、頬骨の下縁部が真っ直ぐである点や、上角骨の外側稜の後方に凹みが存在する点など、他の近縁種に見られない特徴が数多く認められる

ことから、新属新種であると結論づけられ、シャムラプトル・スワティ (*Siamraptor suwati*) と命名されました（図4.5）。

本研究における系統解析により、シャムラプトルはこれまでに見つかったカルカロドントサウルス類の中でも最も早くに分岐した系統に位置づけられました（図3）。このような基盤的なメンバーが東南アジアで発見されたことは、フクイラプトルを含むカルカロドントサウルス類全体の放散の過程を知る上で非常に重要であり、その進化史の一端を明らかにしたと言えます。

（服部 創紀）



図1. 恐竜化石発掘現場



図2. シャムラプトルの全体像



「満足度UP!」の取組み

2018年度は入館者数が90万人超となりました。2019年度も、引き続きおもてなしや利便性の向上を図ってさらに多くのお客様をお迎えするため、「満足度UP!」対策に取り組みました。

【主な取組み】

●営業時間の拡大

「9時から17時まで」を
「8時30分から18時まで」に拡大
(期間)

2019年4月27日(土)～5月6日(月祝)
7月13日(土)～15日(月祝)
7月20日(土)～9月1日(日)
9月14日(土)～16日(月祝)
9月21日(土)～23日(月祝)
10月12日(土)～14日(月祝)

●屋外チケットカウンターの設置

2019年4月27日(土)～5月6日(月祝)
7月12日(金)～9月1日(日)
9月14日(土)～16日(月祝)
9月21日(土)～23日(月祝)
10月12日(土)～14日(月祝)



屋外チケットカウンター

●団体・再入場専用入口の設置

2019年8月10日(土)～9月1日(日)

●駐車場や渋滞などの混雑状況をHPで発信

2019年8月10日(土)～

※繁忙期に実施

●福井県アンテナショップ「恐竜291」とミュージアムショップの特設店舗を開設

2019年3月16日(土)～5月6日(月祝)の土日祝日春休み、ゴールデンウィークは毎日、7月12日(金)～9月1日(日)毎日、9月7日(土)～10月14日(月祝)の土日祝日、12月20日(金)～2020年1月19日(日)毎日



福井県アンテナショップ「恐竜291」

●ミュージアムショップ「DINO STORE」カフェ&レストラン「DINO CAFE」のリニューアルオープン

ミュージアムショップは国内最大級の約200種類のフィギュアを揃えたほか、書籍コーナーを設置、また、カフェ&レストランでは順番受付システムを導入し、4月27日(土)にイメージを一新してオープンしました。



ショップ等リニューアルセレモニー



順番受付システム

●軽食イーティングコーナーを設置 2019年4月27日(土)～5月6日(月祝)



軽食イーティングコーナー

通算入館者数 1000万人突破!!

2000年7月14日の開館以来の通算入館者数が、2019年3月31日(日)に1000万人を突破しました。来館者の皆さんと一緒にくす玉を開いてお祝いました。



セレモニーでのくす玉開披

野外恐竜博物館

開館6年目の野外恐竜博物館を、4月25日(木)に再開し、市内の小学生によるオープニングセレモニーを行いました。



オープニングセレモニーでの化石の掘り始め式

また、8月15日(木)には開館以来の通算利用者数が20万人を突破し、ツアー参加者の皆さんと一緒にお祝いしました。



20万人突破記念セレモニー

11月4日(月)の営業終了までの間に、過去最高の42,930人のお客さまが利用され、通算の利用者数は、約21万7千人に達しました。

今年は、4月23日(木)から営業を再開する予定です。

令和への改元

5月1日(祝)に「令和への改元」新たな時代の幕開けを、くす玉開披とホワイトピジョンリリースで、来館者の皆さんと一緒にお祝いしました。



くす玉開披とホワイトピジョンリリース

「国際博物館の日」記念講演会

5月18日(土)は国際博物館会議が提唱する「国際博物館の日」です。当館では記念講演会を開催するとともに、観覧料を無料としました。



研究員による記念講演

特別展の開催

2019年度特別展「恐竜の脳力～恐竜の生態を脳科学で解き明かす～」を開催しました。



研究員による解説

今回の特別展では、日本初公開となるバキリノサウルスの頭骨など約100点の標本を展示するとともに、トリケラトプスのロボットやCG、プロジェクトクマッピングを活用した展示も行いました。



大盛況の特別展

総入場者数は214,004人となり、大盛況のうちに閉幕しました。

また、開催期間中は、毎週のように週末イベントを実施するなどして会場を盛り上げ、特別展に御入場いただいたお客さまに、楽しんでいただきました。

●期間：2019年7月12日(金)
～10月14日(月) 95日間

恐竜ラグビーチーム「ダイナソーズ」がワールドカップ2019を応援

9月20日(金)から開催されるラグビーワールドカップ2019を盛り上げるため恐竜たちによるラグビーチーム「ダイナソーズ」をつくり、各国チームの活躍を応援しました。

●期間：2019年7月12日(金)
～11月4日(月)



恐竜ラグビーチーム「ダイナソーズ」

恐竜博物館課題研究コンクール

夏休みの課題研究として「フクイサウルス」が、もしも絶滅せずに現在まで生き残っていたらどのように進化したかを考えてもらいました。

8月1日(木)から募集し、厳正な審査により各賞を決定、11月17日(日)に表彰式と発表会を行いました。



表彰式、発表会の様子

第四次恐竜化石発掘調査

勝山市北谷町の発掘現場において、7月29日(月)から9月7日(土)にかけて、2019年度の第四次恐竜化石発掘調査を実施しました。同調査は、2013年からスタートし、今年度が7年目になります。

この調査の中で発見された植物化石の一つがナンヨウスギ科の新種であると認められ1月に発表しました。

なお、今年度の調査では、4,200点を超える骨化石が採集されるなど、多くの成果が得られました。

【恐竜化石発掘調査】

- 期 間：2019年7月29日(月)
～9月7日(土)
- 調査地：勝山市北谷町杉山

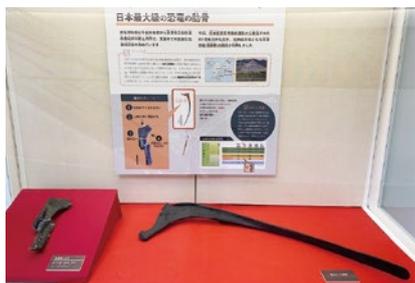


発掘調査現場

国内の他の研究機関との共同調査・研究

徳島県立博物館と行っている共同研究で、徳島県勝浦町で発見された化石が、日本最古のスッポンモドキ科カメ類の甲羅化石であることが判明したので2月に発表しました。

天草市立御所浦白亜紀資料館と行っている共同研究で、熊本県天草市で発見された化石が、日本最大級(九州最大)の竜脚類恐竜の肋骨化石であることが判明したので2月に発表しました。恐竜博物館では、発見された化石標本(複製)を2月28日(金)から公開しています。



公開された肋骨化石標本(複製)

ゴビ砂漠 恐竜化石共同発掘調査

福井県立大学恐竜学研究所や中国科学院古脊椎動物・古人類研究所等とともに、2017年度から5年計画で、中国内モンゴル自治区などゴビ砂漠一帯において、恐竜化石発掘の共同調査を行っています。

2019年度は、8月23日(金)から9月20日(金)の4週間、中国内モンゴル自治区で調査を行いました。

●参加機関

- 日本側：福井県立大学恐竜学研究所、
福井県立恐竜博物館
- 中国側：中国科学院古脊椎動物・古人類研究所

「映画ドラえもん のび太の新恐竜」 とタイアップ

「映画ドラえもん のび太の新恐竜」の制作にあたって当館が学術面の監修などで協力しました。

このことから、映画公開に向け各種タイアップ企画を展開しました。

- 第1弾 「ぎみが発掘した新恐竜イラストコンテスト」に「福井県立恐竜博物館部門」として参加
- 第2弾 お正月 旧作の「映画ドラえもん」の特別上映とドラえもんコーナーの設置
- 第3弾 テレビアニメ「ドラえもん」のミニコーナーに当館 藪田 研究員が出演

2019年冬季企画展 「新種発見!! 恐竜につけられた 名前のひみつ」

今年は新しい元号「令和」が制定されましたが、その選定過程が話題になりました。今回の企画展では、この「命名」をキーワードに恐竜の学名の決め方や命名の手順、名前に込められた意味などの学名にまつわるトピックスを恐竜の全身骨格等の標本とともに紹介しました。

●開催期間：

- 2019年11月30日(土)～
2020年1月19日(日)

- 開催場所：3階特別展示室

●展示内容：

- (1)福井産の鳥類「フクイプテリクス・ブリマ」の実物化石等(3点)
- (2)タイ産の獣脚類「シャムラプトルス・スワティ」の部分骨(22点)
- (3)「ゴルゴサウルス」他7体の恐竜全身骨格を含む標本15点



2019冬季企画展の様子

年末年始特別開館

年末年始にふるさと福井に帰省された皆さんや旅行などで本県を訪れる皆さんから、年末年始の開館を望む声が多く寄せられていたことなどを考慮して、特別開館を拡大して実施しています。

また、昨年から紋付袴を身に着けたフクイサウルスがお客様をお迎えするようになりました。

●特別開館日：

- 2019年12月29日(日)・30日(月)、
2020年1月2日(土)



正月の装いの「フクイサウルス」

新型コロナウイルス 感染拡大防止のため臨時休館

県の新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定により、令和2年2月29日(土)から臨時休館となっております。

(喜多山真二、市川一彦)



開館20周年記念特別展

20th

福井県立恐竜博物館

「恐竜新時代」

～世界に広がる恐竜王国の覇者たち～

(仮称)

2020.7.17^金-11.3^{祝・火} [博物館休館日を除く]

福井県立恐竜博物館は今年の7月で開館20周年を迎えます。その博物館建設のきっかけとなったのが勝山市北谷町の恐竜化石発掘現場です。現在わかっているだけでも7種類の恐竜を含む多種多様な動植物化石が数多く発見されることから、前期白亜紀の日本の生態系を復元しうるポテンシャルを秘めた化石産地として国内外から注目されつつあります。発掘がスタートした平成元(1989)年から30年以上経った現在でも調査が続いており、近年ではCTスキャン等の最新技術を使った新しい研究や堆積学的研究による環境復元の試みなど多彩な研究成果が蓄積しつつあります。

そこで令和2年度の特別展では、日本の恐竜研究にとって大きなターニングポイントとなった福井県での恐竜化石発見から現在に至るまでの発掘調査の歴史や研究の進展について、当時の報道資料や化石標本、復元画等で振り返ります。さらに、近年の発掘調査や最新の研究成果によって解き明かされつつある、フクイサウルスやフクイベ

ナートルなど福井の恐竜たちの新事実を新たな復元骨格とともに紹介します。また、福井の恐竜たちが暮らしていた環境について、一緒に見つかるワニやカメ、魚、昆虫、貝、植物などの化石、そして発掘現場の地層の研究からも迫ります。

つぎに、約190年前の恐竜研究黎明期から指折りの化石産地として知られる英国ワイト島より、前期白亜紀の恐竜たちが来日します。大型の獣脚類ネオバナートルや鳥脚類イグアノドンをはじめ、日本初公開となる原始的なティラノサウルス類のエオティラヌスや鳥脚類マンテリサウルスの新たな全身骨格化石など、ダイナソーアイル博物館が所蔵する貴重な標本の数々を展示します。もちろん恐竜だけでなく、翼竜やワニ、カメ、魚、貝、植物などの様々な化石も同時に展示します。ワイト島の化石産地は、地層の時代(前期白亜紀)だけでなく見つかる動植物のグループも福井とよく似ています。恐竜研究の歴史の長さでは大先輩にあたる英国ワイト島の恐竜たちについて

知ることは、当時のヨーロッパの生態系や環境を理解するだけではなく、福井の恐竜たちの特徴や学術的な重要性を気づかせてくれるはずですよ。

そして、開館20周年を記念して、姉妹提携20周年となるカナダのロイヤルティレル古生物学博物館からは、後期白亜紀のティラノサウルス類化石がやってきます。日本初公開となるゴルゴサウルスの全身骨格のほか、“ブラックビューティー”と呼ばれるティラノサウルスの頭骨が来日します。カナダのアルバータ州で発見されたこのティラノサウルスの化石は、非常に保存状態が良好で美しく、かつ地層中で黒く変色していたことから名づけられました。カナダのアルバータ州もまた100年以上の歴史をもつ恐竜化石産地であり、現在でも活発な発掘調査と研究が続けられている恐竜王国です。

今年の夏はぜひ福井の特別展で世界の恐竜王国の新たな姿に触れてみませんか。

(蘭田 哲平)



フクイラプトル・キタダニエンシス



ネオバナートル全身骨格
(イギリス・ダイナソーアイル博物館)



ロイヤルティレル古生物学博物館
(カナダ・アルバータ州)

恐竜博物館カレッジの ご案内

2020年4月～7月

※所定の方法にて、行事名、氏名、年齢、住所、電話番号を、博物館までご連絡ください。開催日の一ヶ月前から受付を開始し、定員に達し次第締め切らせていただきます。ただし、申し込み多数の場合は抽選となる場合があります。
 ※行事の日程、内容等につきましては、変更になることがあります。
 ※当館Webサイトの行事案内ページ (https://www.dinosaur.pref.fukui.jp/event/) もご覧ください。
 ※10回参加いただけますと「恐竜博物館カレッジ認定証」を発行いたします。(年度をまたいで可)。

特別展開連行事

■特別展ツアー「特別展の展示解説」
 内容/特別展の素晴らしい標本について、詳しく解説します。
 ・第1回/7月18日(土) 13:00～14:00
 ・第2回/8月1日(土) 13:00～14:00
 ・第3回/10月3日(土) 13:00～14:00
 ・第4回/11月3日(火祝) 13:00～14:00
 担当/柴田 正輝、藪田 哲平
 場所/特別展示室
 定員/20名
 申込/電話、FAX、E-mailにて

パブリックコース

博物館セミナー

場所/研修室
 申込/電話、FAX、E-mailにて

■ベイスック恐竜学
 日時/4月12日(日) 13:00～14:30
 内容/恐竜の1年の始まりです。今年は、当館の開館20周年にあたり、まさに恐竜年と言える2020年になります。その始まりとして、恐竜の基礎知識を学習したいと思います。「恐竜はどのような生物なのか?」「なぜ福井で恐竜が見つかるのか?」など。後に続く、セミナーや自然教室で役に立つ知識を身につけましょう。
 講師/柴田 正輝

■鳥類の進化と多様性
 日時/5月16日(土) 13:00～14:30
 内容/現在、鳥類は約1万種が存在するとされています。哺乳類が約6000種とされているので、鳥類の多様性の高さがわかるでしょう。このように大繁栄している鳥類は、恐竜からどのように進化し、多様化していったのでしょうか。
 講師/河部 壮一郎

■フクイティタンの復元: 前肢と後肢
 日時/5月24日(日) 13:00～14:30
 内容/フクイティタンの前肢と後肢の化石は、構成する骨のうち半分ほどが見つかっています。近縁種の化石や福井県で発見されている足跡化石などの情報も参考にすることにより、四肢骨の復元に挑戦しました。
 注意: マニアックな解説を含みます。
 講師/関谷 透

■貝類からみる地層のできかた
 日時/6月14日(日) 13:00～14:30
 内容/地層からよく見つかる貝類化石には、様々な情報が詰まっています。その情報を読み解くことで、貝類が生息していた環境や地層ができるまでの過程を推測することができます。貝類の生態から化石層のできかたまでをご紹介します。
 講師/中山 健太郎

■フクイペナートルのふしぎ
 日時/7月5日(日) 13:00～14:30
 内容/勝山市北谷町の発掘現場で見つかった小型獣脚類フクイペナートルについて、その不思議な特徴と、そこからわかることを紹介します。
 講師/服部 創紀

ジュニアコース

博物館自然教室

場所/実習室
 対象/小学生以上(小学生は保護者も参加) 20名
 申込/E-mailにて

■なぞの恐竜を研究しよう
 日時/4月18日(土) 13:00～15:00
 内容/博物館には恐竜の全身骨格が並んでいますが、実際の発掘現場では一部の骨化石しか見つからないことがほとんどです。部分的な標本から、どんな恐竜の、どの部分の骨なのか、一緒に考えてみましょう。博物館の展示の中にヒントがかかれています。
 担当/関谷 透

■いろいろな石を見くらべてみよう
 日時/5月10日(日) 13:00～15:00
 内容/いろいろな石の磨いた面や薄く切ったものを観察して、どのようなつくりをしているか、見くらべてみましょう。
 担当/湯川 弘一

■カメラを使った化石の3Dモデル作り
 日時/6月7日(日) 13:00～15:00
 内容/最近の恐竜学の研究では、実物化石を3Dモデルとしてコンピューターに取り込み、計測や実験を行うことが増えてきました。また、世界中の博物館では、展示物を3DCG化し、インターネットを通して遠く離れた場所でも見られるようになってきました。この自然教室では、「フォトグラメトリー」という技術を使い、誰でも簡単に挑戦できる、化石の3Dモデル化を紹介します。
 担当/今井 拓哉

■木の化石をとかしてはがしてみよう
 日時/6月28日(日) 13:00～15:00
 内容/木の化石を磨いて酸で溶かしてシールを貼り付けて、そのシールをはがすことで木材の内部が観察できるプレバートが作れます。そのプレバートから木の種類を調べて、当時の森を想像します。
 担当/寺田 和雄

■地球の歴史を調べよう
 ～恐竜があらわれるには?～
 日時/7月12日(日) 13:00～15:00
 内容/博物館の展示をめぐるラリーゲームを通して、恐竜が現れるまでの地球の歴史をご紹介します。
 担当/静谷 あてな

キッズコース

恐竜ふれあい教室

対象/4歳～小3の親子 15組
 場所/実習室
 申込/E-mailにて

■親子で化石のレプリカをつくろう!
 日時/5月31日(日) 13:00～14:00
 内容/石こうを使って、アンモナイトなどの化石の複製を作ります。

■親子で化石のレプリカをつくろう!
 日時/6月21日(日) 13:00～14:00
 内容/石こうを使って、アンモナイトなどの化石の複製を作ります。

■親子で恐竜模型をつくろう!
 日時/7月26日(日) 13:00～15:30
 内容/恐竜の骨格をもとに、粘土を使って恐竜を復元します。
 担当/恐竜造形作家 荒木 一成 先生

ギャラリートーク開催

当館研究スタッフが、展示標本を前に30分程度のお話をします。開催日時、集合場所等、当館ホームページのイベント案内をチェックして下さい。

